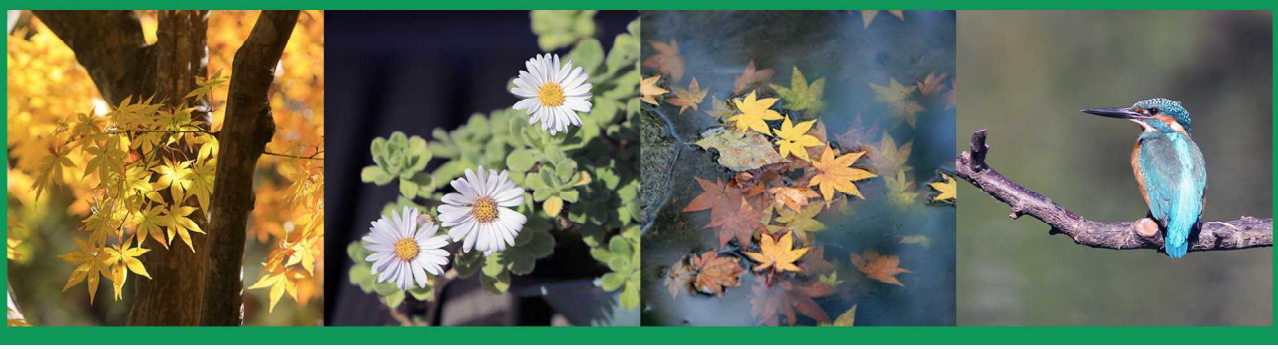
http://decfamily.p1.bindsite.jp/2013NEW/

We 25R

No.296　　13/11/28



意識が上がってきている

昨日の通信に「学級日誌をしっかり書こう」と書いたら、早速●●さんがいっぱい書いてくれました。

▼１１月２７日（水）　●●

１　数Ｂ　Ｔ木先生　ベクトルの問題演習　サクシードの解説きた！

２～３　物理　Ｓ藤先生　ＰＣを使っての実習＋α　スペシャルゲストがいらっしゃいました。先生が後ろの席の人々に写真をせがんでいました。

４　世界史　Ｗ辺先生　小テスト・アンリ３世　アンリ×３

５　体育　Ｙ屋先生　バスケ　運動神経よくなりたいです。

６　英Ⅱ　Ｍ田先生　Lesson７　「でもでもでもね！」by水田先生

７　Ｔ　保戸塚先生　アンケート、修学旅行、合唱祭　「一詩人の最後の歌」かっこよかった！

テスト６日前です。最近、25Rも少しずつ少しずつ意識が上がってきているようです。私も「狂ったように」勉強したいところです…。１週間後に泣きをみることがないようにがんばります。今日は遅刻者が少なかった。先生の「遅刻撲滅計画」も成功しているかと見えます。「静の後期」なんて名ばかりです。でも、楽しいからいいか！

☆すずめ　→　めだかの学校

＊

＜今日一日の感想＞のところに、「先生の「遅刻撲滅計画」も成功しているかと見えます」とある。確かに、今日は二人だけだったし、遅刻傾向のある何人かのうちの誰かの顔が朝のホームルームの時にあると、何となくうれしくは思うのだが、よくよく考えると、その程度のことで喜んでいていいのだろうか？と、我ながらレベルが低くなりつつあることを反省したりするのである。

ごくたまに、「どうしても…」とか「滅多にないダイヤの乱れで…」とかいう理由で時間に遅れてしまうのが「遅刻」なのであって、恒常的に時間に遅れるとすれば、それは（病気などを除いて厳しく書けば）単に人間としてダラしないだけなのである。

あまりにもひどい時は保護者の方に…とも思うのだが、保護者の方も相当苦労されているに違いないわけで、私としてはやはり「本人の自覚」に期待したいのである。多分、自分でもイイと思っているわけではないと思うので、繰り返すが、ぜひ「自分で起きる」を実行するように努めてほしいし、それが遅刻の減少と結びつくようにしてほしい。

今、部活の朝練がある人も、引退して朝練がなくなると、遅刻が増える場合があるかも知れない。その危険性を感じる人（笑）は、生活の変化に伴って遅刻が増えることのないように、今からしっかり自分の生活リズムをつくりあげてほしい。

＊

「意識が上がってきている」というのは、クラスとして歓迎すべき感想である。この感想が本物で、それが一時間一時間の授業の充実に、そして、諸君の本当の実力向上につながることを期待したい。